平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名　横浜丸魚株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8045　URL　http://www.yokohama-maruuo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩瀬　一雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員　(氏名) 成田　秀昭　TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,748	△4.0	△50	―	38	―	35	―
24年3月期第1四半期	14,327	△12.3	△138	―	△44	―	△70	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△279百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△32百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.39	―
24年3月期第1四半期	△10.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,682	9,636	59.5
24年3月期	16,319	9,985	59.3

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　9,324百万円　24年3月期　9,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	10.00	10.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		―	―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	1.4	△100	―	△10	―	10	―	1.51
通期	62,000	1.7	50	―	200	―	150	―	22.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	:	有
② ①以外の会計方針の変更	:	無
③ 会計上の見積りの変更	:	有
④ 修正再表示	:	無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	7,261,706 株	24年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	656,763 株	24年3月期	656,611 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	6,604,972 株	24年3月期1Q	6,605,957 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
（３）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（５）セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等を背景として、緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、依然として緩やかなデフレ傾向が続いており、また、欧州債務問題の長期化や電力供給問題、原油価格の高騰などもあり、先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましても、厳しい雇用環境からの個人消費の低迷、低価格志向に加え、依然として原発問題による水産物に対する風評被害は改善されておらず、取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、平成23年度から平成25年度まで３ヵ年の中期経営計画「MMプラン２nd Stage」の二年次を迎え、企業理念であります安心・安全で良質な商品と心に感じるサービスにより、お客様満足を追求するとともに、豊かな食生活に貢献すべく、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は 13,748 百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ 579 百万円（△4.0%）の減収となりましたが、売上総利益率の改善と大幅な経費削減により、営業損失は50百万円（前年同期　営業損失138百万円）、経常利益は38百万円（前年同期　経常損失44百万円）、四半期純利益は35百万円（前年同期　四半期純損失70百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（水産物卸売事業）

売上高は11,416百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ681百万円（△5.6%）の減収となりましたが、営業損失は32百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ38百万円（前年同期　営業損失70百万円）の改善となりました。

（水産物販売事業）

売上高は2,268百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ97百万円（4.5%）の増収となり、営業損失も25百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ46百万円（前年同期　営業損失72百万円）の改善となりました。

（不動産等賃貸事業）

売上高は３百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ０百万円（△16.4%）の減収となり、営業利益も２百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ２百万円（△45.4%）の減益となりました。

（運送事業）

売上高は60百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ４百万円（7.6%）の増収となり、営業利益も３百万円と前第１四半期連結累計期間に比べ２百万円（193.0%）の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、15,682百万円と前連結会計年度末に比べ637百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の減少40百万円、受取手形及び売掛金の減少76百万円及び投資有価証券の減少493百万円によるものであります。

負債は、6,046百万円と前連結会計年度末に比べ288百万円減少しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少128百万円及び長期繰延税金負債の減少173百万円によるものであります。

純資産は、9,636百万円と前連結会計年度末に比べ348百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金の減少30百万円及びその他有価証券評価差額金の減少314百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年５月18日に公表いたしました数値から変更はございません。なお、今回発表の１株当たり予想当期純利益の計算は、当第１四半期連結会計期間末の期中平均株式数によっております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,945	2,905
受取手形及び売掛金	3,959	3,882
有価証券	80	80
商品及び製品	1,027	1,035
繰延税金資産	19	21
その他	192	173
貸倒引当金	△514	△514
流動資産合計	7,710	7,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,085	1,067
土地	771	771
リース資産（純額）	89	75
その他（純額）	78	92
有形固定資産合計	2,025	2,006
無形固定資産		
ソフトウエア	107	97
その他	10	10
無形固定資産合計	117	108
投資その他の資産		
投資有価証券	6,377	5,884
長期貸付金	14	25
破産更生債権等	550	548
その他	50	50
貸倒引当金	△526	△525
投資その他の資産合計	6,466	5,983
固定資産合計	8,609	8,098
資産合計	16,319	15,682

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,338	3,209
未払法人税等	23	9
引当金	170	116
その他	358	439
流動負債合計	3,889	3,776
固定負債		
退職給付引当金	750	747
役員退職慰労引当金	89	95
資産除去債務	29	29
繰延税金負債	1,273	1,099
その他	302	297
固定負債合計	2,444	2,269
負債合計	6,334	6,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	5,867	5,836
自己株式	△366	△366
株主資本合計	7,444	7,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,225	1,910
その他の包括利益累計額合計	2,225	1,910
少数株主持分	315	312
純資産合計	9,985	9,636
負債純資産合計	16,319	15,682

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	14,327	13,748
売上原価	13,438	12,869
売上総利益	889	878
販売費及び一般管理費	1,028	929
営業損失（△）	△138	△50
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	84	84
その他	4	5
営業外収益合計	95	89
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益又は経常損失（△）	△44	38
特別利益		
固定資産売却益	－	1
その他	0	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	0	－
投資有価証券評価損	18	－
役員退職慰労金	3	－
その他	0	0
特別損失合計	22	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△66	39
法人税、住民税及び事業税	4	7
法人税等調整額	6	△2
法人税等合計	10	4
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△76	35
少数株主損失（△）	△6	△0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△70	35

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△76	35
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	△314
その他の包括利益合計	44	△314
四半期包括利益	△32	△279
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26	△279
少数株主に係る四半期包括利益	△6	△0

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	12,097	2,170	3	56	14,327	－	14,327
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	755	39	15	58	868	△868	－
計	12,853	2,209	19	114	15,196	△868	14,327
セグメント利益又は損失（△）	△70	△72	4	1	△136	△1	△138

（注）１．セグメント利益の調整額△１百万円は、セグメント間取引消去０百万円及び棚卸資産の未実現利益△１百万円であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	11,416	2,268	3	60	13,748	－	13,748
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	735	45	15	53	850	△850	－
計	12,151	2,313	18	114	14,598	△850	13,748
セグメント利益又は損失（△）	△32	△25	2	3	△51	0	△50

（注）１．セグメント利益の調整額０百万円は、棚卸資産の未実現利益０百万円であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項
（減価償却方法の変更）
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第１四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響額は軽微であります。